

2019年10月23日

株式会社 ispace

スミソニアン航空宇宙博物館に月面探査ローバー「SORATO」を寄贈 2024年開業予定の新施設“Future of Spaceflight”で展示予定

株式会社 ispace（本社：東京都港区、代表取締役：袴田武史）は、スミソニアン航空宇宙博物館に、史上初の民間月面探査レース Google Lunar XPRIZE のために開発した月面探査ローバー「SORATO」のフライトモデルを寄贈致します。本寄贈に伴い、2019年10月23日、アメリカ・ワシントンで開催されている IAC（International Astronautical Conference）2019 会場内で、スミソニアン航空宇宙博物館と共同で寄贈式典を実施致しました。

月面探査ローバー「SORATO」は、重量わずか 4kg と当時で最も小型軽量の惑星探査ローバーです。重量とコストを削減するために民生品を活用し、月面の不整地を走破できる 4 輪駆動、360 度の視野を持つカメラで静止画と動画の撮影など月面探査ミッションを達成できる能力を持っています。

ispace は Google Lunar XPRIZE に参加する日本チーム HAKUTO として、およそ 8 年の歳月をかけ月面探査ローバー「SORATO」を完成させました。残念ながら Google Lunar XPRIZE のレース期間中に打ち上げを行うことは叶いませんでしたが、ローバーの開発を完遂した結果、2015 年の中間賞受賞、2017 年のファイナリスト 5 チーム選出、100 億円を超える資金調達とその後の月輸送サービスの事業化により、現在の HAKUTO-R プログラムへと道をつなぐことができました。

宇宙産業における新しい可能性を切り開いたこと、そして民間の月探査への関心を高めたことなどがスミソニアン航空宇宙博物館に評価され、今回の寄贈に至りました。

2017 年にスミソニアン航空宇宙博物館は、2024 年を目標とした施設改修の一環として、民間の宇宙産業に焦点を当てた新しい展示施設“Future of Spaceflight”の開業を発表しており、「SORATO」は改修完了後にこの施設にて展示される予定です。

■株式会社 ispace ファウンダー & 代表取締役 袴田武史

「スミソニアン航空宇宙博物館に、月面探査ローバーを寄贈できることを非常に嬉しく思います。残念ながら Google Lunar XPRIZE は勝者なくレースが終了しましたが、民間の宇宙産業、特に月探査を大きく前進させ、世界に新たな可能性を示しました。現在スミソニアン航空博物館に展示されている民間初の弾道宇宙飛行を実現した SpaceShipOne は、私が ispace を創業した大きなモチベーションとなりました。この SpaceShipOne のように、私たちが開発した SORATO が民間宇宙開発の可能性を広げた多くの中の一歩として認知され、博物館を訪れる未来を担う次世代の若者の夢を目指すきっかけや原動力となってくれれば嬉しいです」